

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構千葉県事務所
所在地	千葉県野田市木間ヶ瀬 1 6 5 0 番地の 4
評価実施期間	平成 19 年 11 月 5 日～平成 20 年 2 月 15 日

2 評価対象事業者

名 称	ポピンズナーサリー新浦安	種別：	保 育 所
代表者氏名	施設長 吉田 志保子	定員（利用者人数）：	1 5 0 名
所在地	千葉県浦安市入船1-2-1 新浦安駅前プラザ マレ4・5・6F	TEL	0 4 7 - 3 0 4 - 2 1 0 1

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に評価の高い点

当施設は保育・介護サービス事業を全国展開している株式会社ポピンズコーポレーションが浦安市の委託により平成18年4月に開設した保育所である。JR京葉線新浦安駅から徒歩1分の駅隣接ビル内の立地条件から、典型的な駅型保育所であり、保護者の利便性が高い。

本社主導による運営管理は細部にわたってマニュアル化されており、提供するサービスの質の確保はISO9001の運用と相まって評価が高い。保護者アンケート調査結果においても同様の意見が多い。また、利用者の安全管理を徹底している。動画配信サービスにより保護者の要望に答えている。

特に改善を求められる点

地域福祉ニーズを把握した中・長期計画を実行し、目標設定と計数面を含めた進捗状況の評価体制を期待する。近隣公園への散歩が日課となっているので、散歩中の安全管理に配慮が望まれる。本社指示の運営方針によるため、個別施設の裁量範囲は限られるが、地域との関わり、行事の拡大は積極的取組みを望みたい。遊具の充実と活用が課題と思われる。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

ISO9001のシステムにのっとり顧客満足度を高める努力を組織的に行い、特に安全管理やお子様、保護者の皆様への個別対応や配慮については、注力してきたつもりであったので、高い評価を頂き大変光栄であると共に更なる取組みをしていくべく気持ちを新たにさせられました。また合わせて、安全対策に注力してきた故に消極的であった地域交流や園外行事、遊具の設置や活用が今後の課題であることも改めて認識出来たので、今後は安全対策を考慮した上で取り組む工夫をし、お子様や保護者の皆様はもちろん、地域の皆様へも喜ばれる園運営を目指していきたいと思っております。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

当施設は「子ども一人ひとり独立した存在として尊敬し、個性を伸ばし、子どもの尊厳、独立心、権利を守る」という教育哲学のもと、愛情に満ちた環境の中で、全てのお子様に洗練された振る舞いと知能の発達を促し、将来、聡明で愛情深く、独立心の旺盛な社会の一員に成長できるよう手助けさせていただきます。また、乳児から食育指導を心がけ、3歳からはバイキング形式での暖かく楽しいランチタイムを用意しています。一人でも多くの保護者の方々のサポーターでありたいと願っております。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	「ポピンズナーサリーの哲学」「ポピンズナーサリーの教育方針」を職員に徹底させている。保育サービスの質の向上と確保を重視している。地域ニーズ、特性を盛り込んだ中・長期計画の策定が望まれる。
組織の運営管理	経営分析については月単位で全社的に取り組んで改善に努めている。 人事管理、研修計画についても全社的に取り組んでいる。研修結果は報告会により情報を共有し、サービスの質向上に寄与している。地域との関わりは保育計画においても意義あるものであり拡大が望ましい。
適切な福祉サービスの実施	サービスの質の確保と向上は全社的に取り組んでおり、ISO9001による定期的評価管理により維持されている。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	施設建物の都合もあるが、スペースを確保し、自発的、創造的遊び空間と時間の工夫を望みたい。 保護者の意向を反映させた保育内容の実現には保護者の理解と協働により、満足度向上の取り組みを期待したい。

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目			
福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	理念が明文化されている。	A	
			2	理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A	
			4	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	A	
			6	事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	A	
		(3) 計画の適正な策定	7	施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	A	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	A	
			9	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	
組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	B	
			11	経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A	
			13	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	A	
			14	職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A	
		(2) 職員の就業への配慮	15	事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	A	
			16	福利厚生に積極的に取り組んでいる。	A	
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A
	18	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A		
	19	実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている		A		
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	
			21	利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A	
	4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	地域との交流・連携を図っている。	B	
			23	利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	A	
			24	事業所が有する機能を地域に還元している。	A	
			25	関係機関等との連携が適切に行なわれている。	A	
		(2) 地域福祉の向上	26	地域の福祉ニーズを把握している。	A	
			27	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A	
	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	A
				29	プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	A
(2) 利用者満足の上			30	利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	A	
			31	利用者満足の上に向けた取り組みを行っている	A	
(3) 利用者意見の表明			32	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	A	
			33	寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	A	
34		利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A			
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	35	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	
			36	課題発見のための組織的な取り組みをしている。	A	
			37	常に改善すべき課題に取り組んでいる。	A	
		(2) サービスの標準化	38	職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A	
			39	日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	A	
			(3) 実施サービスの記録	40	利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A
41		利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。		A		
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	42	施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A		
		43	サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A		
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	44	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B		
		(2) 個別支援計画の策定	45	一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A	
	46		個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A		
	(3) 情報の管理	47	個人情報保護に関する規定を公表している。	A		

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 ポピンズナーサリー新浦安

評価基準	項目番号	評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織			
- 1 理念・基本方針			
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。			
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	A	「ポピンズナーサリーの哲学」として明文化されている。
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	基本方針は明文化され、パンフレットやホームページ、園内に掲示してある。基本方針は、法人の理念と整合性を図り、地域の利用者のニーズや職員の行動規範となるような具体化が望まれる。
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。			
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	理念を応接室や出入口・スタッフルームなど、見やすい箇所に掲示してある。理念や基本方針を明文化し、職員に配布し周知と実践を求めている。継続的取組みを望みたい。
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	A	入所時の説明会において説明するほか、利用者や来訪者にも見やすいように園内に理念が掲示され、しおりやパンフレット等により理解を求めている。さらに理解を促す継続的取組みを望みたい。
- 2 計画の策定			
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	A	中期経営計画（3年）が本社で策定され、各事業所に年度目標が提示される。これに基づき事業計画を策定し進捗状況を毎月チェックしている。
- 2 - (2) 重要課題の明確化			
- 2 - (2) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	A	年度計画は職員全体ミーティングで課題の明確化と周知徹底を図っている。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (3) 計画が適切に策定されている。			
- 2 - (3) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	A	事業計画が本社・ルーム事業部で品質管理目標が設定され、全体ミーティング、リーダーミーティング、クラスミーティングで合議し、次年度の事業計画に反映されている。
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3 - (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3 - (1) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	A	管理者は本社・ルーム事業部と共に、実施する福祉サービスの質の向上に意欲を持ち、組織としての取り組みに十分な指導力を発揮している。毎月のミニアンケートや年末のアンケート、日誌や保護者との交流を通して利用者の意見を汲み上げている。
- 3 - (1) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人員配置・職員の環境整備等、具体的に体制作りをしている。スタッフからの効率化に向けての課題や提案については、積極的な改善・指導を行なっている。
組織の運営管理			
- 1 経営状況の把握			
- 1 - (1) 経営環境の変化等への対応			
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	B	本社よりネットワークで園や社会のニーズや動向を配信され、キャッチアップされている。園が存在する浦安市の待機児童・保育所の入所状況や子育て環境の変貌に伴う保育不安、産後うつ等の保育に関する情報については行政や保健センターとの関係を図り、事業計画に反映させながら地域福祉環境の整備を提案する取り組みを期待する。
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	A	毎月经営状況を分析し、本社に報告し全社的に改善に取り組んでいる。
- 2 人材の確保・養成			
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。			
- 3 - (1) - 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	「ポピンズナーサリーの哲学」「ポピンズナーサリーの教育方針」を定め職員に周知徹底させている。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	A	リクルートプロジェクト・ポピンズクオリティなどで、人材育成のシステムが整えられ、計画的に進められている。
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	A	当社のチャレンジプランにより実施している。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	A	全体、朝のミーティング、リーダー・ケースミーティングや給食ミーティングなどで課題を話し合い、改善を検討する機会を持っている。
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	A	就業規則・育児・介護休業規程等に福利厚生を掲げている。その他リフレッシュ、長期休暇取得の奨励、保護者とスタッフのケアのために臨床心理学士の対応が定期的にある。
- 2 - (3) 職員の質の向上への体制整備			
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	A	ポピンズナーサリーの哲学に「プロとしての心と能力を維持し、発展させる」とあり年度事業計画書にも具体的計画が明示されている。
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	A	社内外の研修には積極的に参加し、レポート提出、報告会により情報の共有と成果分析により研修計画の改善を図っている。
- 2 - (3) - 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	A	受入マニュアルに基づき、実習希望者を積極的に受入れている。学校等との受入れ窓口は本社が担当している。

評価基準		評点	コメント
- 3 安全管理			
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
- 3 - (1) - 緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	A	安全マニュアルに基づく体制が整備されており、定例チェックを実施している。
- 3 - (1) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	A	新人研修・業務マニュアル・ルーム毎の都度研修などを通して事例の収集・不適合発生報告書・要因分析・対応策（是正処置処理書）を検討・実施しながら事故等の発生を防ぐと共に「危険への気づき」を促し、子ども・利用者の安全確保を目的とした情報を共有し、対策を講じている。
- 4 地域との交流と連携			
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。			
- 4 - (1) - 地域との交流・連携を図っている。	22	B	小学生との交流、ボランティア受け入れ、地域行事への参加実績があるが、更なる積極的取り組みを望みたい。
- 4 - (1) - 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	A	近隣公園の利用、地域散策、施設見学等社会資源は活用している。地域情報についてもパンフレットを置くなど取り組んでいる。
- 4 - (1) - 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	A	市の委託事業として病後児保育・一時保育・休日保育・子育て支援センター（マリンドームの開放）等の特別保育を実施し、パンフレットやホームページを活用して利用者に周知を図っている。
- 4 - (1) - 関係機関との連携を図っている。	25	A	関係諸団体に参加し情報交換を密にしている。子育ての悩み・相談・報告・情報交換を市と実施している。更なる積極的取組みを望みたい。

評価基準		評点	コメント
- 4 - (2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズを把握している。	26	A	本社の担当部と連携し、ニーズの把握・分析を実施し、積極的に取り組んでいる。
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	A	病後時保育・休日保育・一時保育・子育て支援センター・栄養相談を実施し、さらに新事業を模索するなど積極的に取り組んでいる。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 ポピンズナーサリー新浦安

評価基準	項目番号	評点	コメント
適切な福祉サービスの実施			
- 1 利用者本位の福祉サービス			
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
- 1 - (1) - 施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	入社前の「新人社員研修」や「機密事項遵守」に関する契約書を交わしている。
- 1 - (1) - プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	A	入社前に交わす「機密事項遵守」の契約書の他に、毎月実施するミニテスト、毎月の全体ミーティング・クラスミーティング・リーダーミーティングにて全職員への周知を徹底させているが、一層の強化が望ましい。
- 1 - (2) 利用者満足の向上に務めている。			
- 1 - (2) - 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	毎月のミニアンケート、年1回の本社宛無記名アンケートを実施し、保護者からの意見を把握している。利用者の個別面談や父兄懇談会・保育参加にて相談を定期的に行なっている。
- 1 - (2) - 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	A	アンケートの結果はリーダーミーティングで検討し、コメントを付して閲覧に供しており、把握した結果を分析し対策を明示している。ケースにより文書を用いる等して、全職員に対し周知する取組みがある。
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
- 1 - (3) - 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	苦情や意見には園長・主任保育士が全て対応しており、保護者に通知している。苦情や意見についてミーティングによって職員に意見交換し共通認識を取るよう対応しているが、更なる強化を求めたい。
- 1 - (3) - 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	A	苦情解決の体制は本社において集中管理体制をとっている。アンケート時も意見を集約している。
- 1 - (3) - 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	A	マニュアルに基づき、保護者の意見に対して施設長・主任・看護師・栄養士が質問に答える体制があり、信頼を得られるよう努力している。
- 2 サービスの質の確保			
- 2 - (1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
- 2 - (1) - サービス内容について定期的な評価を行う体制を整備している。	35	A	I S O の内部監査、審査を定期的受審しており、リーダーミーティングにおいて検討を行ない、分析・評価を行っている。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (1) - 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	A	アンケートを集計し分析をすると同時に課題を発見し改善・取組みを行なっている。リーダーミーティング・全体ミーティングで課題の共有化が図られている。
- 2 - (1) - 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	リーダーミーティング・全体ミーティングで確認・改善策の策定等が行なわれており、その結果が記録で残されている。
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
- 2 - (2) - 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	A	保護者対応マニュアル・給食マニュアル・感染症マニュアル・投与薬マニュアル等各種業務マニュアルが整備されている。
- 2 - (2) - 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	A	本社ルーム事業部が作成するISO品質管理の手順に沿って、マニュアルを検討し改訂を行なっている。ナースリーにおいてもマニュアルを整備しその都度改善をしている。
- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
- 2 - (3) - 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	A	「指導計画」「個別カリキュラム」等に基づき、一人ひとりの成長・発達状況を細かく把握している。また、それらの記録や計画を保護者が自由に確認できる。
- 2 - (3) - 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	A	朝・夕・時間外等の引継ぎは表によって伝達されている。ネットワークシステムを整え「保護者コミュニケーション」情報を共有フォルダーで共有する工夫がある。
- 3 サービスの開始・継続			
- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
- 3 - (1) - 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	A	毎月の見学会を実施しており、要望に対応する努力をしている。また、その他の機会でも園の見学は随時園長・主任保育士が対応している。
- 3 - (1) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	A	「入園同意書」「パンフレット」等を利用前に渡し、利用者との面談を通して必要事項を伝え、理解を得ている。契約書・同意書に内容が明記されている。
- 4 サービス実施計画の策定			
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。			
- 4 - (1) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	B	0、1、2歳児は連絡カード、3歳児以上は連絡帳を通して一人ひとりの課題や内容を明確にし対応されているが、幼児部についての連絡帳の記入は随時であるため、朝・夕の言葉かけを大切にすることが望まれる。

評価基準		評点	コメント
- 4 - (2) 個別支援計画の策定			
- 4 - (2) - 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	A	「個別カリキュラム」によって成長の記録が詳細にされており、担当保育士によるコメントが付され、「指導計画」と共に管理されている。
- 4 - (2) - 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	A	毎月の指導計画及び子どもの成長の記録に基づいてクラスミーティング・全体ミーティング等を通じ、評価・反省・見直しを実施している。
- 4 - (3) 情報の管理			
- 4 - (3) - 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	入園の際に「個人情報及び肖像権に関する依頼書」により個人情報保護の姿勢を説明し同意を得ている。

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果				評価結果
大項目	中項目	小項目	項目	
保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
			2 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A
		(2) 健康管理・食事	3 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
			4 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
			5 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A
			6 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
			7 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
			8 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
			9 アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
		(3) 保育環境	10 子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A
			11 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	A
		(4) 保育内容	12 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようとしている。	B
			13 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
			14 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	B
			15 身近な自然や社会と関わられるような取り組みがなされている。	A
			16 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A
			17 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A
			18 性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A
			19 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
			20 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
			21 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A
			23 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
			24 こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A
			25 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	A
			26 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A
		(2) 一時保育	27 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 ポピンズナーサリー新浦安

評価基準	項目番号	評点	コメント
保育所			
- 1 子どもの発達援助			
- 1 - (1) 発達援助の基本			
- 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	A	保育所保育指針を踏まえ、保育計画・保育指導計画を作成している。家庭の状況も考慮して乳児・障害・病後児保育等も実施されている。保護者の意向に沿うことも考慮して欲しい。
- 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	A	指導計画は毎月見直し、月末に反省考察を行ない記録し翌月に活用している。指導計画は乳児部・幼児部に分かれており年齢に応じた計画が作成され活かされている。
- 1 - (2) 健康管理・食事			
- 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	A	入園の際渡す書類一式の中に健康状態に関する書類があり、子ども一人ひとりの体調について職員・看護師・栄養士等が連絡を密に取り気を配っている。健康に関するマニュアルもあり活用している。
- 1 - (2) - 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	個別の健康に対する書類が整備されている。内科・歯科健診も年2回実施しており、結果を保護者に連絡し、また、個別の成長記録に記載している。
- 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	A	保健衛生マニュアルに基づき感染症・アレルギー安全対策等が作成されており、看護師と共に職員の研修を深めている。入室時に手指消毒を行なう等、予防に努めている。ニュースレター・キッズヘルス等の配布物で保護者へ連絡している。
- 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	乳児の食事は保育士一人ひとりの成長に応じて接し、3歳以上児はプレイルームでバイキング方式で行ない楽しく食べられるよう配慮されている。食器は陶器を使用しており、落として割れたりすることもあるが協調性を養う・物を大事に扱う等、保育に活かされている。
- 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	A	保護者向けの給食試食会を実施し、アンケートを取りその結果を献立に反映させている。栄養士が各クラスの保育士と連絡を密に取り各年齢ごとのミーティングを行なう等よく把握されている。
- 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	A	保護者には毎月献立票を配布しており、給食のサンプル展示を行なっている。保護者の要望に応じレシピを渡す等、食に対する理解を深めている。また、個人面談の必要がある時は栄養士も同席している。
- 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	アレルギーマニュアルに基づき、入園児全員が健康診断を受診し提出している。アレルギーのある子どもについては、診断書と同時にアレルギーの内容報告書を提出し、個別面談を行ない対応策を検討している。アレルギー児のことについては、栄養士が保育士と良く連絡を取り、配膳・食札等十分に気を使っている。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (3) 保育環境			
- 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	施設の色合い、照明・換気等が十分に配慮されており、清潔に心がけ落ち着いた雰囲気作りをしている。園庭が狭いため遊具が無くお散歩等で補っているが、散歩先の公園の遊具の点検等、安全管理に万全を期されたい。
- 1 - (3) - 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	A	保育室は明るく温かみがあり一人ひとりの子どもが安心できるよう保育士が配慮している。自然物・季節の保育は園外（お散歩）を中心に行なっている。
- 1 - (4) 保育内容			
- 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	B	園の方針に基づき、子どもには穏やかに話しかけ、命令・禁止句は不必要に使用しないよう心がけ、ミーティング等で話し合っている。全職員の意識統一に更なる努力を期待する。さらなる徹底が望まれる。
- 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	食事・睡眠・衣服の着脱やトイレの誘導等は子どもの生活リズム、発達に応じて対応している。
- 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	B	各コーナーに絵本・おもちゃ等が配置されているが、幼児部からは素材を自由に使ったり、ごっこ遊び等創造豊かに遊べるよう保育の工夫検討が望まれる。
- 1 - (4) - 身近な自然や社会とかがかわれるような取り組みがなされている。	15	A	地域の公園を利用してお散歩によく出かけ、枯葉や木の実を利用して季節感のある保育をしている。施設の制約があるが可能な限り動植物の本物に触れさせる努力をしている。
- 1 - (4) - 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	年齢に応じた言葉かけに意識して保育を行なっている。お散歩等で年齢差の子供同士手を繋ぐ等の交流は持っているが、3歳以上児については一日の保育の中で一緒に遊ぶ時間を多く持つ等、工夫が望まれる。
- 1 - (4) - 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	17	A	園の方針に基づき、子どもには穏やかに話しかけ、命令・禁止句は不必要に使用しないよう心がけ、職員研修も行なっている。
- 1 - (4) - 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	A	「男の子」「女の子」という固定観念や先入観での見方や扱いはしないよう、職員に対し基礎研修、新人研修で指導している。
- 1 - (4) - 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	A	乳児の保育室は採光・衛生・温度・床はコルク剤を張り、安全にも十分配慮されている。0、1歳児に関しては、SID対策の取組みとして5分・10分毎にチェックする等きめ細かな配慮がなされている。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (4) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	A	専任の時間外担当職員を配して、安全に過ごせるよう対応し、補食・夕食も提供している。時間外保育士と担任保育士の連絡方法にはケースにより文書を用いる等、的確に行なわれている。
- 1 - (4) - 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	バリアフリー、障害者用トイレの設置を行ない環境を整備している。看護師・専任保育士を配置しており、健常児と行動を共にできる環境を整えている。全職員に障害児保育に関する知識を持たせる努力が見られる。
- 2 子育て支援			
- 2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援			
- 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	乳児部は個別連絡カードを毎日記入、幼児部は連絡帳に随時記入し、朝・夕の声かけを行なう等コミュニケーションを図っている。
- 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	個別対応シート、保護者コミュニケーションリストを作成して記録を付け育児相談等に対処している。
- 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	A	定期的な個別面談や父兄懇談会を実施し、状況に応じて専門スタッフによる個別相談も実施している。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	A	登降園時、親子の様子・会話又身体の視診等を行なっているが、異常を発見した時は面談の提案を実施し、全職員等にミーティングで周知対応している。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	保護者の悩みや相談については、日常の会話により推察している。浦安市子ども支援センターとの連絡・連携を取っている。
- 2 - (2) 一時保育			
- 2 - (2) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	A	一時保育専任担当者を配置しており、一日の生活が分かるよう配慮し、通常保育同様連絡帳や書面によって報告している。